

## アモーヴァ・アセットマネジメント

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。



## グローバル・ロボティクス株式ファンド

(1年決算型)/(年2回決算型)/  
(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)

～10周年記念レポート～

## 想定を超えた歩み続けるロボティクス



グローバル・ロボティクス株式ファンドは、2025年8月末をもって、設定から10周年\*を迎えました。

本レポートでは、この10年間の振り返りや、当ファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(以下、ラザード社)のコメントなどをご紹介します。

今後とも、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

\*「1年決算型」および「年2回決算型」のみ。

なお、「為替ヘッジあり・1年決算型」「為替ヘッジあり・年2回決算型」の設定日は2017年1月23日です。

## 数々の難局を乗り越えながらも、当ファンドはこの10年で力強く成長

## &lt;「1年決算型」基準価額の推移&gt;

(2015年8月31日(設定日)～2025年8月29日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※世界株式: MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

(信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 設定から10年、当ファンドが掲げる「ロボティクス」とは

- 当ファンドは、労働力不足という世界的な課題を克服する手段である「ロボティクス」に着目したファンドとして、2015年8月31日より運用を開始しました。
- 労働者の高齢化や生産年齢(15~64歳)人口の減少は、先進国のみならず、人口大国である中国でも進展するなど人手不足が深刻化しており、生産性の向上がますます求められています。そのような中、「ロボティクス」は、人間が行っていた作業を人手を介さずに可能とする“自動化”や、自ら手順などを判断し人間の介在なしに動作する“自律化”を可能にする技術として注目されています。

“労働力不足”を克服する手段として活用が進む「ロボティクス」

ロボティクスによる  
自動化・自律化が進み、  
活用領域は  
さらなる拡がりをみせる



近年の環境変化は、ロボティクス活用を後押し

### 脱グローバル化

米中貿易摩擦やコロナ禍などを契機に、それまで中国一局集中だった生産拠点を分散化する動きが強まっています。

### 生成AI

2022年のChatGPT\*公開を契機に、生産性を向上させる技術として生成AIに対する注目は一気に高まりました。足元では、開発競争が激化しています。

\*米国企業によって開発された、人間との対話に近い自然な文章を生成するAIチャットサービス

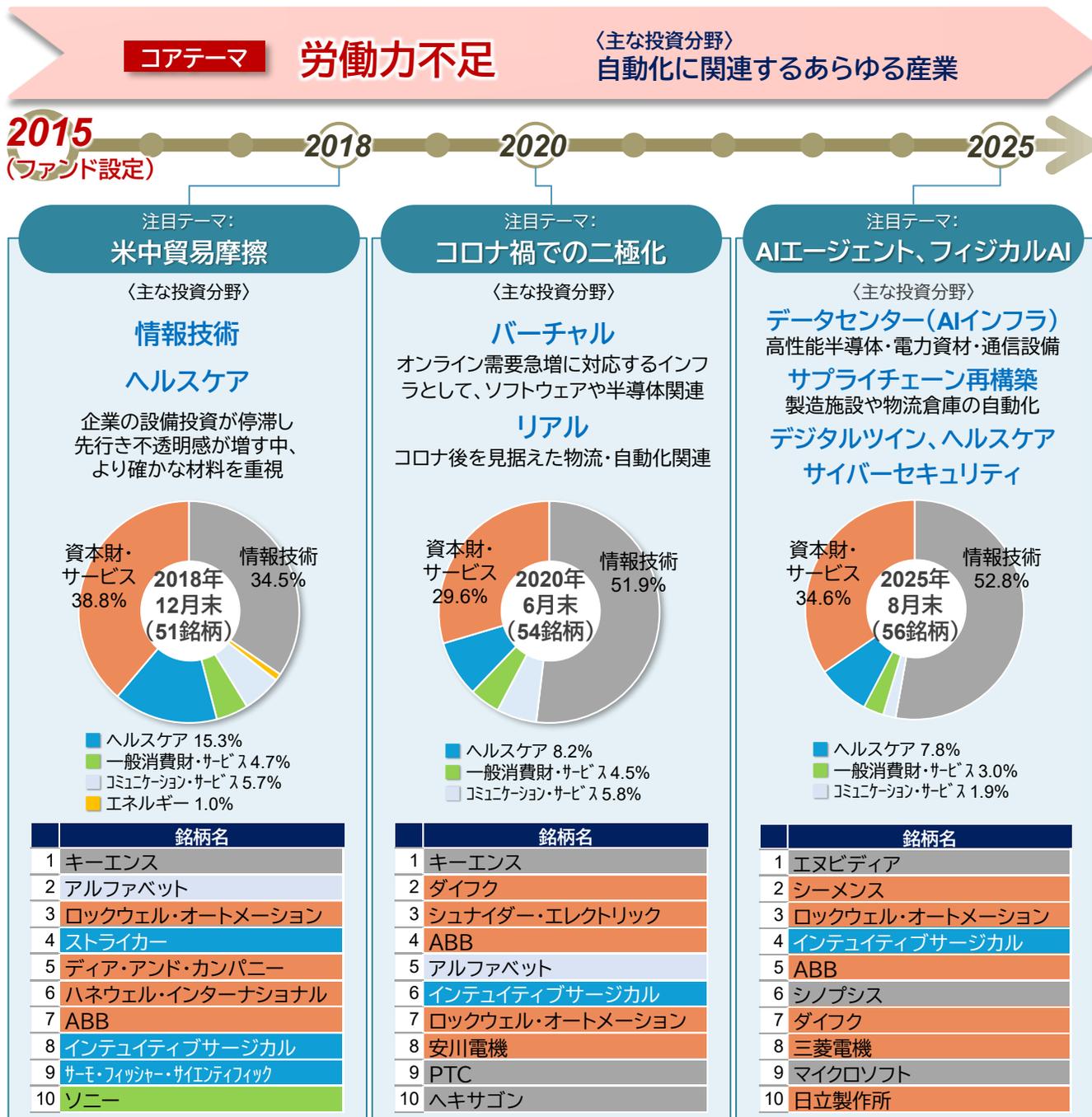
※写真・イラストはすべてイメージです。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 当ファンドの変わらないコアテーマ、変化する注目テーマ

- 当ファンドでは、世界的課題である「労働力不足」をコアテーマに据え、幅広い産業の自動化・自律化への貢献が期待される銘柄に着目しています。加えて、ロボティクスを取り巻く環境、技術の進化などといった「構造的変化」を中長期的な視点から捉え、それらの変化をもたらす、あるいは恩恵を受けるセクターや銘柄にも注目し、ポートフォリオに反映させてきました。

＜当ファンドの注目テーマと業種別構成比率、組入上位10銘柄の変遷＞



※業種は、GICS(世界産業分類基準)の分類です。

※上記はマザーファンドの状況であり、比率は組入株式時価総額比です。

※業種別構成比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

From LAZARD ~ラザード・コメント~

## 人口動態と技術革新が導く、ロボティクスのこれまでとこれから

2025年8月末、当ファンドは運用開始から10年の節目を迎えました。長期にわたり皆様の資産形成に携われたことは、私たちにとって大きな喜びであり、心より感謝申し上げます。

## ▶ 市場環境が変化中でも、力強い回復と成長をみせた10年

この10年間、世界では「先進国および中国の生産年齢人口の減少」と、「ロボティクス関連技術の着実な進化」という構図が一貫して継続しており、当ファンドにとって強力な追い風となってきました。米中貿易摩擦や金利上昇局面など、一時的な逆風もありましたが、当ファンドはその都度、力強く回復し、長期的に堅調な成長を遂げてきました。

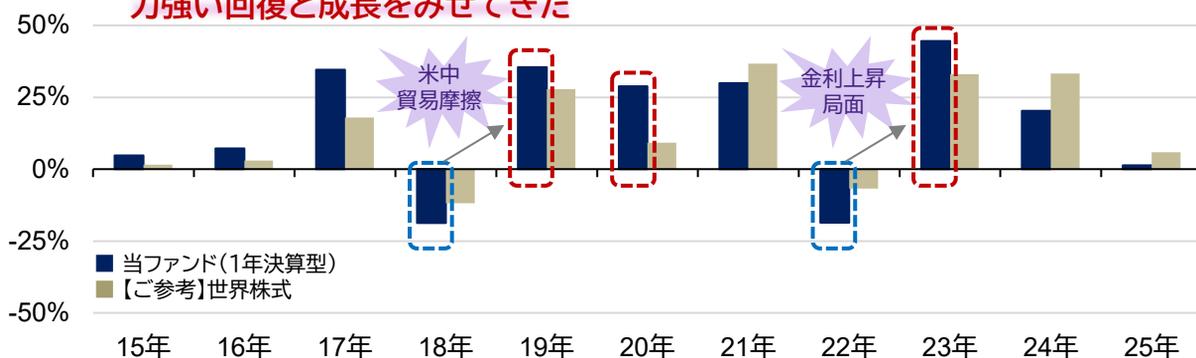
2024年夏頃から2025年前半にかけては、米国による対中半導体規制の強化や、中国製低コストAIの台頭による市場の混乱、莫大な資本を投入したAI投資の成果に対する懸念、米政権による関税政策の発動などがパフォーマンスに影響を与えました。しかし、私たちはこうした市場変動を投資の好機と捉え、バリュエーションを重視した運用を続け、中長期的に有望と考えられる企業への投資を通じて、持続的な成長をめざしてきました。

## &lt;「1年決算型」の年間騰落率&gt;

(2015~2025年\*)

\*2015年は8月31日から、2025年は8月29日まで。

厳しい環境を経ても、  
力強い回復と成長をみせてきた



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※世界株式:MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

(信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成)

(次ページに続きます)

※上記は、ラザード社からのコメントなどをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。コメントは、資料作成時点における市場環境ならびに今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

(前ページより続きます)

From LAZARD ~ラザード・コメント~

## 製造業だけでなく日常生活にも。想定を超え広がった自動化の潮流

当ファンドが設定された2015年は、2011年にドイツによって「インダストリー4.0」が提唱され、製造業のデジタル化と自動化が加速し始めた時期でした。同時に、膨大なデータをAIに学習させるディープラーニングの活用が進み始め、ロボティクスの可能性が広がり始めた時期でもあります。

それから10年、ロボティクスは、ラザード社が当初期待していた将来像を超えて進化を遂げてきました。現在では、製造現場や物流倉庫で、安全柵を必要とせず人と協働可能なロボットが導入され、米国の一部地域では無人タクシーが公道を走行、日本でも実証実験が進んでいます。オフィスでは、生成AIが翻訳やプログラミングを担うなど、10年前には想像できなかった技術が現実となっています。

### <ファンド設定当初の想定を超えて進化したロボティクスの例>



#### 高性能半導体の実用化

演算機能の大幅な向上をもたらした高性能半導体(GPU<sup>\*1</sup>やHBM<sup>\*2</sup>など)の実用化。



#### “自律型ロボット”の実装化

ビジョンセンサーによってロボットが視覚を得たことで、自ら考え動くロボットが実装段階に。



#### IoT<sup>\*3</sup>の価値が大きく上昇

センサー性能向上や価格低下、ビッグデータ分析能力の高まりで、IoTの価値が大幅に上昇。



#### 生成AIによる自動化革新

生成AIの活用によって、自動化に大きな転換点が到来。

※イラストはイメージです。

\*1 画像処理半導体(Graphics Processing Unit) \*2 広帯域メモリー(High Bandwidth Memory)

\*3 モノをインターネットに接続し、相互にデータをやり取りする技術(Internet of Things)

(次ページに続きます)

※上記は、ラザード社からのコメントなどをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。コメントは、資料作成時点における市場環境ならびに今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

(前ページより続きます)

From LAZARD ~ラザード・コメント~

## ▶ 次世代AIによるロボティクスの成長加速と、新たな投資機会

では、次の10年で世界はどのように変化していくのでしょうか。現在注目されているのが、生成AIの進化系ともいえる「AIエージェント」と、それがハードウェアに搭載された「フィジカルAI」です。

AIエージェントは、いまや多くの人々が利用できる生成AIとは異なり、細かな指示を必要とせず、自律的に業務を遂行する“目に見えないロボット”のような存在で、すでにビデオ監視警備や在庫管理、議事録作成、調査業務やレポート作成などで活用が始まっています。ソフトウェア開発や金融業界などの業務も、AIエージェントによるプログラミングによって自動化され、私たちの働き方を大きく変化させる可能性があります。

さらに、AIエージェントがハードウェアに搭載されることで、現実世界で判断・行動する「フィジカルAI」へと進化しつつあります。物流現場では、人型ロボットが自ら考えて動く実証実験も始まっており、ロボティクスの進化は新たな段階に入っています。

こうした高度なAIを動かすためには、膨大な計算能力が必要です。そのため、AIを支えるデータセンターへの投資が急増しています。データセンターの安定稼働には、以下のようなインフラが不可欠です。

### 次世代AIを支えるデータセンターに不可欠なインフラの例

電力供給を支える  
資本財

高性能半導体と、  
半導体の効率性を  
支える冷却技術

安定運営を支える  
通信設備

※写真はイメージです。

特に、データセンター需要の急増に対して電力インフラがボトルネックとなっており、これらの設備を提供できる企業には大きな投資機会が生まれています。

先進国および中国の生産年齢人口の減少は、今後さらに加速すると予測されています。これに伴い、自動化のニーズはこれまで以上に高まり、AIエージェントやフィジカルAIの社会実装が進むことで、人手不足の課題が解決され、より豊かな社会の実現が期待されます。

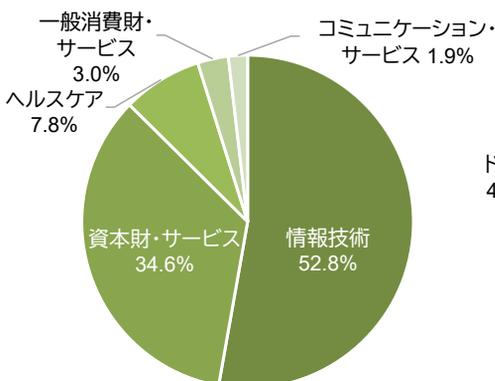
ロボティクス関連企業は、こうした社会的課題の解決に貢献することで、今後ますます成長が見込まれます。ラザード社は、これらの企業への投資を通じて、皆様の資産形成をこれからも力強く支えてまいります。

次の10年も、ロボティクスのさらなる飛躍にぜひご期待ください。

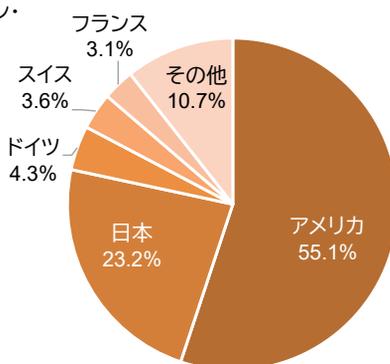
※上記は、ラザード社からのコメントなどをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。コメントは、資料作成時点における市場環境ならびに今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

# ポートフォリオの概要(2025年8月末現在)

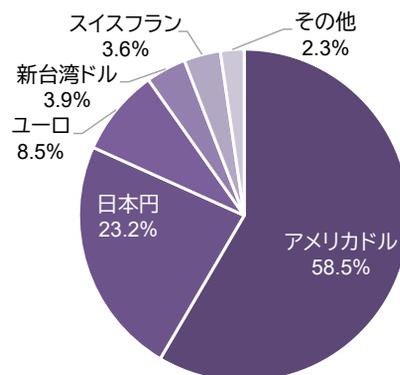
## 業種別比率



## 国別比率



## 通貨別比率



## 組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 56銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP エヌビディア	アメリカ	情報技術	4.9%
2	SIEMENS AG-REG シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	4.3%
3	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.7%
4	INTUITIVE SURGICAL INC インテュイティブサージカル	アメリカ	ヘルスケア	3.7%
5	ABB LTD-REG ABB	スイス	資本財・サービス	3.6%
6	SYNOPSYS INC シノプシス	アメリカ	情報技術	2.8%
7	ダイフク	日本	資本財・サービス	2.8%
8	三菱電機	日本	資本財・サービス	2.8%
9	MICROSOFT CORP マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.8%
10	日立製作所	日本	資本財・サービス	2.8%

※上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。  
各比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

# 基準価額と純資産総額の推移①

## 1年決算型

(2015年8月31日(設定日)～2025年8月29日)



<分配金実績(過去5年)>

2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
2025年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>  
40,018円

<純資産総額>  
4,588億円

(2025年8月29日現在)

## 年2回決算型

(2015年8月31日(設定日)～2025年8月29日)



<分配金実績(過去5年)>

2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	950円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	1,000円
2024年	1月	1,000円	7月	1,500円
2025年	1月	1,000円	7月	500円
設定来合計		15,550円		

<基準価額>  
(税引前分配金再投資ベース)  
39,950円

(税引前分配金控除後)  
10,356円

<純資産総額>  
5,674億円

(2025年8月29日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものご留意ください。  
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 基準価額と純資産総額の推移②

### 為替ヘッジあり・1年決算型

(2017年1月23日(設定日)～2025年8月29日)



<分配金実績(過去5年)>

2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
2025年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>  
24,668円

<純資産総額>  
145億円

(2025年8月29日現在)

### 為替ヘッジあり・年2回決算型

(2017年1月23日(設定日)～2025年8月29日)



<分配金実績(過去5年)>

2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	400円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	0円
2024年	1月	350円	7月	1,000円
2025年	1月	0円	7月	0円
設定来合計		9,800円		

<基準価額>  
(税引前分配金再投資ベース)  
24,706円

(税引前分配金控除後)  
10,342円

<純資産総額>  
117億円

(2025年8月29日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものにご留意ください。  
 ※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 主な受賞歴のご紹介

「グローバル・ロボティクス株式ファンド」シリーズは、パフォーマンスについて、評価機関より以下のような評価を頂いています。



「R&Iファンド大賞2024」  
(投資信託部門)

**優秀ファンド賞**

<対象ファンド>

「1年決算型」「年2回決算型」

<部門名>

投資信託 テクノロジー関連外国株式部門

### 【R&Iファンド大賞について】

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

当賞は、過去3年間を選考期間とし、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウンを加味したうえで選考しています。評価基準日は2024年3月31日です。



## ファンドの特色

1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
3. お客様の運用ニーズに応じて、決算頻度や為替ヘッジの有無が異なる4ファンドからお選びいただけます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)／(為替ヘッジあり・1年決算型)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的としてアモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

## お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	<1年決算型>／<年2回決算型> 無期限(2015年8月31日設定) <為替ヘッジあり・1年決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 無期限(2017年1月23日設定)
決算日	<1年決算型>／<為替ヘッジあり・1年決算型> 毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日または ニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

## &lt;申込時、換金時にご負担いただく費用&gt;

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。		
換金手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。

## &lt;信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用&gt;

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%(税抜1.76%)
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、 <u>ファンドの 日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が 信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の 利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益と なる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできま せん。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて  
異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.amova-am.com [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ハ ッ ジ あり ・ 1 年 決 算 型	為 替 ハ ッ ジ あり ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券業協会	日本投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 第一種金融商品 取引業協会	
○	○			アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号				
○	○			アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
○				株式会社あいち銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○		○	
○	○			株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○			
○	○	○	○	あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第67号	○	○	○	
○				株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
	○			朝日信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第143号	○			
○	○			足利小山信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第217号				
○	○			株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○	
○				足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第144号				
○				尼崎信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第39号	○			
○	○	○	○	株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
	○			株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号			○	
	○			池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
○				今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○	○		
	○			株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
○	○			岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
○				株式会社若手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○			
○	○	○	○	SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
○	○	○	○	株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
○	○	○	○	株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
	○			遠州信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第28号				
	○			株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	
	○			大垣西濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第29号				
	○			大川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第19号				
○				OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
	○			大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第47号	○			
	○			大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号				
○				大田原信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第219号				
○				大牟田柳川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第20号				
○				岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第30号	○			
○	○			岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
○	○	○	○	岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○	○		
○	○	○	○	おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○			
○				おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
○				株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
○				株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○			
○				香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			
○				株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○			
○	○			株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○			
○				鹿児島相互信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第26号				
○				柏崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第242号				
	○			株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	○			
○				金沢信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第15号	○			

(次ページに続きます)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決算 型	年 2 回 決算 型	為 替 ヘ ッ ジ あり ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ あり ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日 本 証 券 業 協 会	日 本 投 資 顧 問 業 協 会	一 般 社 団 法 人 協 会	一 般 社 団 法 人 金 融 先 物 取 引 業 協 会	
○				鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第221号				
○				蒲郡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第32号				
○				観音寺信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第17号				
○	○			株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
	○			北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
	○			北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第233号				
○	○			きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第51号				
○	○			キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第62号	○			○
○	○			九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(登金)第18号	○			
○	○			京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第53号				
○	○			京都北部信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号				
○	○			株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
○	○			株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
○	○			きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第3198号	○			
○	○			株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
○	○			桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
○	○			熊本第一信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第14号				
○	○			呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
○	○			くんざん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第2938号	○			
○	○			株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
○	○			興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
○	○			湖東信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第57号				
○	○			さかみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号				
○	○			佐野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第223号				
○	○			さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○			
○	○			株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
○	○			三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第244号				
○	○			Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第35号	○	○		
○	○			株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
○	○			四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(登金)第21号	○			
○	○			しずおか焼津信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第38号				
○	○			静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(登金)第10号	○			
○	○			七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(登金)第37号	○			
○	○			しのめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
○	○			株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第170号	○	○		
○	○	○		株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
○	○			城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第147号	○			
○	○			株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
○	○			株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めがき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
○	○			白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第36号				
○	○			新庄信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第37号				
○	○			株式会社スマートプラス	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第3031号	○	○		○
○	○			スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			
○	○			諏訪信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第255号				
○	○			静岡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第43号				
○	○			西武信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第162号	○			
○	○			関信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第45号				
○	○			瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
○	○			株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号			○	
○	○			第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第128号				
○	○			大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第108号	○	○	○	○
○	○			高崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第237号				
○	○			高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第20号				
○	○			但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号				
○	○			玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号				
○	○			知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第48号				
○	○			株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
○	○			東栄信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第172号				
○	○	○	○	東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長(登金)第140号	○	○	○	○
○	○			東京信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第176号	○			
○	○			東京東信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第179号	○			
○	○			株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○			
○	○	○	○	東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第121号	○			○
○	○			株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○			
○	○			栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
○	○			鳥取信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第35号				
○	○			株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
○	○			株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
○	○			富山信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第27号				
○	○			株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
○	○			豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第54号				
○	○			内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(登金)第24号	○			○
○	○			株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
○	○			長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			

(次ページに続きます)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決算 型	年 2 回 決算 型	為 替 ハ ッ ジ あり ・ 1 年 決算 型	為 替 ハ ッ ジ あり ・ 年 2 回 決算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券業協会	日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	第一種金融商品取引業協会 一般社団法人	
○				株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
○				奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第71号	○			
○				奈良中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第72号				
○	○			株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
○	○			南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
	○			西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○			
	○			西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
○	○			株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
○	○		○	西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
○				のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
○	○	○	○	野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
○	○			株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	株式会社八十二銀行 (委託金融商品取引業者八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
○	○			八幡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第60号				
○	○			浜銀IT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
○				浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
○	○			播州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第76号	○			
○				阪能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
○	○			PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
○	○			株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号				
○	○			百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
○				兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号				
○				平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号				
○	○			ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
○	○	○		株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○	
○	○			福井信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第32号				
○	○			福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○			
○	○			富士宮信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第65号				
○	○	○	○	PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
○	○			PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○			
○				碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
○		○		株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
○	○	○	○	北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
○	○			株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
○	○	○	○	松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
○	○	○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(登金)第165号	○	○	○	○
○	○	○	○	丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○	○		
○	○	○	○	丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
○				三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
○				水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号				
○	○	○	○	株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
○	○			三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	○
○	○	○	○	三菱UFJeスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	○
○	○	○	○	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
○				株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○	
○				株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○			
○				moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
○	○	○	○	株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
○				明和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
○				めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
○				大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号				
○				株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
○	○			株式会社UI銀行 (委託金融商品取引業者 さらぼしライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第673号	○			
○	○	○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
○				留萌信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第36号				
○	○	○	○	ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(資料作成日現在、50音順)